

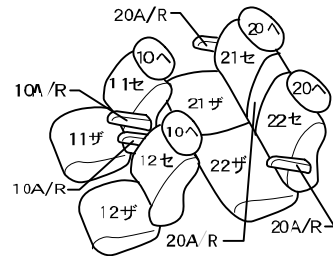
弊社製品をお買い求め頂き誠に有難うございます。取り付けは下記の要領にて行って下さい。尚、取り付けの前に必ず下記の注意をご覧下さい。

△注意

- ・装着による事故・故障等の責任は、一切負いかねますので予めご了承下さい。
- ・作業の際は、ケガ等をしない様細心の注意で行って下さい。
- ・シートカバーを損傷する恐れがありますので無理な力をかけないで下さい。
- ・取り付けの際に、無理な力がかかったり、作業性が悪い等の場合によっては、シートを取り外して作業を行って下さい。
- ・作業の際は、特にシートを取り外した場合、シートで車両等を傷付けない様、細心の注意で行って下さい。
- ・直射日光に長時間あたる場所に置いたり、本革やジーンズ等の染料を使用している真鍮の素材と接触させると、色落ちや色うつりが生じる場合があります。
- ・他の物との摩擦等により、破損や表面異状が生じる場合があります。
- ・仕様については、品質向上の為、将来予告無しに変更する場合があります。

準備作業

シートカバーと現車のシートを照合し各部の確認をして下さい。▶



ストッパーの使い方



2本のヒモ同士を結び前に、緩み防止と結びやすさのため、図のようにストッパーに2本のヒモを同時に通して下さい。

スパチュラの使い方



ヘッドレストやベルトのガイドに生地を差し込む場合や、生地を奥に押し込む場合、付属のスパチュラを図のように使いましょう。隙間の大小により、前後を使い分けると便利です。

モデル車種: クラウン/アリスト

フロント背面



背面のハンドルを外すために、付け根のフタをマイナスドライバー等で外します。本体に傷をつけないように差し込んで下さい。



プラスドライバーで固定されている場合、図のように押し付けながら、ネジ山がなめれないよう注意して下さい。



背面と座面とのフラップ(連結部分)は、座面下の隙間より手を差し込み、フックを外すか、ゴムを外して開いて下さい。



バックパネルは、底部を2本のネジで固定されているため、図のような角度でドライバーを差し込み、外します。また元に戻す時は、やりにくい作業となりますので、取り付け状態をイメージしながら外しましょう。



図のようにバックパネルが外れます。元に戻す時は、ツメとネジの位置を微調整してはめます。



背面は特に立体的な構造をしているため、ひと通りかぶせた後、生地をよくもみ込みながら、ラインを合わせて下さい。かぶせ終わったら、ゴム同士をS字フックで結び、バランスよく張って下さい。



背面をかぶせ終えて、バックパネルを戻す際、カバー側にビス穴を開けて下さい。現車合わせとなりますので、慎重に開けましょう。



ひと通り装着すると図のようになります。バックパネルを戻した後も、しわが出ていないか確認して下さい。最後にハンドルを戻して下さい。



フロント座面

ひと通りかぶったら、図のように奥に生地を押しやり、背面に出します。フラップが外れていれば、背面より生地を引っ張り出します。



背面と座面の間より、押し込んだカバーを引き出します。十分に引き出し、ラインを合わせた後、ゴムひもを付属にS字フックで座面裏に固定して下さい。



リア座面

リアシートは前部2本のフックで固定されている場合があります。力強く上に持ち上げると、外すことが出来ます。



ひと通りかぶせた後、均等にゴムが張られているか確認しましょう。微調整しながら、偏っていないか確認して下さい。



リア背面

リア背面は複数のボルトで固定されています。クラウンの場合、ヘッドレスト裏に2本、センターコンソール裏に2本、サイド裏に2本で計6本あります。ボックスレンチ等で慎重に外していきます。



ベルトガイド3個もボルトで固定されています。せまい部分ですので注意して下さい。



この時点でセンターコンソールを外して下さい。ボルト2本程度で固定されています。カバーをひと通りかぶせて、ゴムの張りやしわを見ながら、微調整して下さい。



シートベルトガイドを戻す際の位置を把握するため、事前に穴を開けておきます。この工程は重要ですので、必ず行って下さい。



リアコンソール

リアコンソールはフタと本体をありますので、まずは、フタと本体を上記の図の様にネジを外し取り外して下さい。



フタの部分のシートカバーを取り付けます。取り付け前に、図のように裏面の裏布タのネジを外して下さい。



内側の小物入れ部分をバラします。図の用にネジを全て外して、パネルを外して下さい。



小物入れ部分の内布を戻しつつ、生地をキレイに入れ込んで下さい。この時無理に力を入れ過ぎるとパネルが破損しやすいので、注意して下さい。付属のヘラで、微調整をして下さい。

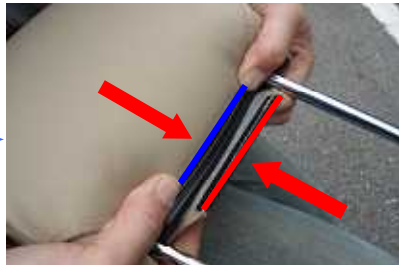


ドリンクホルダー部分は現車に合わせて加工して下さい。2列目のアームレストコンソールの部分のシートカバーの取り付けが出来ましたら、背面部分に戻して下さい。

ヘッドレスト



カバーの入り口がせまいので、ヘッドレスト本体を押しつぶしながら、慎重に入れ込みます。全体をもむようにラインを合わせて整えます。



フックタイプのヘッドレストは、Jフック(青)の側に、プレート側(赤)をはめる方式です。



プレート側をリターンさせて、図の用にJフック側に差し込みます。タイトな構造ですので、十分に生地を引き寄せて下さい。



図のように奥までめ込んで下さい。差し込みが浅い場合、外れやすくなります。

フロントコンソール



リアコンソールと同様、丁寧にネジを外していきます。細かいネジがありますので、無(く)さないよう注意して下さい。



ヘラを使って、生地を差し込んで下さい。シワが出やすい部分ですので、微調整しながら進めて下さい。

仕上げ

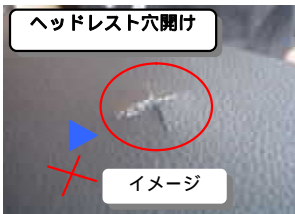


カバーのコーナーがフィットしているか確認して下さい。ずれやダブつきがあるようでしたら、少しずつ引っ張りながら位置を整えて下さい。



装着したばかりのカバーは、折ジワが残っていたり、形状にマッチしていないことがあります。十分にもみ込んで、なじませて下さい。この工程で仕上がりが変わります。

ヘッドレスト穴開け



イメージ



最終的にヘッドレストの位置決めをします。ヘッドレストのガイドの真上に、カミソリのようなもので浅く十字で切り込みを入れます。貫通させるとガイドに傷が付く恐れがあります。切れ込みにガイドの角を押し込むようにします。

